

会議録

- 1 会議の名称 令和5年度第2回 川根本町商工観光委員会
- 2 会議日時 令和6年2月 28 日(水)午後1時 30 分から午後2時 55 分まで
- 3 開催場所 本庁舎3階 303 会議室
- 4 出席者氏名
 - (1) 委員 神田優一委員長、堀美千恵、山下良子、諸田武男
中原緑、大竹勝子、望月孝之
 - (2) 執行機関 町長 藺田靖邦
(事務局)産業振興課長 澤口誠一郎、服部了士課長補佐兼室長
観光交流課長 北村浩二、高畑良成館長、伊藤恵美室長

5 議題

- (1) 商工業振興事業について
- (2) 観光振興関係事業について
- (3) 音戯の郷事業について
- (4) その他

6 会議資料の名称

- (1) 商工業振興事業について
- (2) 観光振興事業について
- (3) 音戯の郷事業について

7 会議の内容

- (1) 委員長挨拶

- (2) 議事

委員長により議事進行。委員長が商工業振興事業について事務局から説明を求める。

① 令和5年度の観光入込状況について

商工業振興事業説明の前に、観光入込状況について観光入込調査表を基に事務局が説明する。

② 商工業振興事業について

資料に基づき、商工業振興事業について担当が説明する。

委員長が商工業振興事業について委員から質問を求める。

(委員) ラインクーポンの手法を今回は1～3期に分けたことで分かりづらかった。4期で元に戻ったので、事業者、お客さんともに扱いやすかった。

テレワークについて、実績はどの位利用しているのか。

(事務局) 把握していない。以前、企画課で研修を3回程度実施し、参加はそれぞれ20名程度であった。実績を求める企業側と隙間時間に仕事をしたい受け手側の認識の相違により、数名がテレワークを始めたが継続できたのは1名だった。その後、諸々の事情によりその方も実施が困難となった。

(委員) 雇用創出とは何をやるのか。

(事務局) 塾的な内容を想定している。前回の反省点も踏まえ、スキルとマッチングまで実施したい。

(委員) 女性限定はなぜか。

(事務局) 補助金の対象が女性のため、女性に限定させてもらっている。

(委員) チャレンジショップは過去に辞めてしまった店舗の原因を解決してやるのか。休館や営業時間をフレキシブルに対応しないと応募する方がいないと思う。

(委員) 音戯の郷で、というが、開業をしたいからチャレンジするのであって、音戯の営業時間に合わせて、というのは違うのではないか。

(事務局) 内容を再度精査する。

委員長がこれ以上の発言がないことを確認し、次の議事へ進行する。

③ 観光振興関係事業について

資料に基づき、観光振興関係事業について担当が説明する。

委員長が事業について委員から質問を求める。

(委員) 星空列車は2月連休の時に午後3時に売り切れとなったが、観光協会等で乗車できなかった方に対し他の観光地などを案内したか。

(事務局) 夜間の運行になるので、案内はできなかったが、今後の検討課題としたい。今回は乗れなかった方に、次回の誘客につなげようと、ノベルティを配布した。乗車できない場合の別の観光コースなどPRできるかも含めて検討したい。

(委員) 周遊させる方法はいいと思う。

(委員) クリスマスマーケットなどやったらどうか。都市部では入場料もとるところもある。

(委員) クリスマスマーケットを千頭駅前を考える会で1日だけ実施した。反省会をまだ実施していないが、収益があったとの声を聞いた。次回は複数日

も検討したい。星空列車の日だったが、地元の方もたくさん来てくれた。
(事務局) 千頭駅前を考える会と連携をしながら、今後も町としてできることを実施していきたい。

(委員) 接岨湖上駅などは金銭消費がない。星空列車乗った方が宿泊できるような支援をしてほしい。星空列車のときにバスで寸又峡まで連れていくなどしてほしい。

(事務局) 今回からは宿泊事業者の枠を設けた。

(委員) 星空列車は湖上駅だけだが、曇りなどにはバスを出して別の見える場所に連れていくなどしたらどうか。

(事務局) 新規事業として、町内で活躍している団体と星空観賞会を計画している。

委員長がこれ以上の発言がないことを確認し、次の議事へ進行する。

④ 音戯の郷事業について

資料に基づき、音戯の郷事業について担当が説明。

委員長が事業について委員から質問を求める。

(委員) 町民の意見の吸い上げ、観光委員会などの意見を吸い上げる仕組みは賛同できる。町民の関心があるため、できるだけ進捗状況を提供、開示してほしい。ラインなどで意見を求めてもいいのではないか。

(事務局) 施設のあり方も考えないといけない中での音戯の郷のあり方検討なので、今回専門的な方や町民の代表に検討してもらってやっていきたい。

情報が入り乱れないようにしたいが、閉鎖的にはならないようにしたい。出た意見はできる限りお知らせしていきたい。

委員長がこれ以上の発言がないことを確認し、次の議事へ進行する。

⑤ その他について

(委員) 大鉄の問題について、商工観光委員会で大井川鐵道はこの町に必要である。との認識を委員全員がもっていると感じた。

(委員) お土産がないと聞く。新商品の開発など考えたらどうか。

(事務局) 行政が考えるよりも民間事業所のほうがアイデアが出ていいと思う。

現在も各事業所が商品を既にいくつも作っている。今あるもののお土産リストなどを作成して告知していくことから始めたい。

委員長がこれ以上の発言がないことを確認し、議事を終了。

午後2時 55 分閉会

上記に相違ないことを確認する。

委員長 神田 優一